

第2期 霧島市子ども・子育て支援事業計画(令和6年度実績)各事業の振返り評価

事業名	第2期計画	シート
利用者支援事業	63頁	2
地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター管理運営事業）	64頁	3
妊婦健康診査	64頁	4
乳児家庭全戸訪問事業	65頁	5
養育支援訪問事業	65頁	6
子育て短期支援事業（ショートステイ）	66頁	7
ファミリー・サポート・センター事業	66頁	8
一時預かり事業（幼稚園）	67頁	9
一時預かり事業（保育）	68頁	10
時間外保育事業（延長保育事業）	69頁	11
病児・病後児保育事業	70頁	12
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	71頁	13
実費徴収に係る補足給付を行う事業	74頁	14

事業名	利用者支援事業	63頁
事業内容	お子さんとその保護者の身近な場所で、教育・保育施設、地域の子育て支援事業などの情報提供や子育てについての相談・助言などを行うとともに、関係機関との連絡調整などを実施する事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	1	1	1	1	1
確保の内容 b	1	1	1	1	1

2 実績

(単位：箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
拠点件数 A	1	1	1	1	1

3 評価

(単位：箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
拠点件数 A-a	0	0	0	0	0

所管課による評価

専任の保健師を配置し地域の子育て支援事業などの情報提供や子育てについての相談・助言などを行うとともに、関係機関との連絡調整などを実施することで、特に妊産婦のいる家庭については、医療機関や助産師等との連絡などがスムーズに行えている。母子健康手帳交付時に支援の必要性をアセスメントすることで、対象者に合わせた支援が行えていると考える。令和6年度から専任の保健師も増員し対応している。

次年度以降の方向性

A : 推進・継続
B : 見直し
C : 休止・廃止

A

令和6年度からは、母子保健機能と児童福祉機能を一体的に運営することも家庭センターを設置した。母子の包括的支援をさらに充実し、切れ目のない支援を実施していく。

事業名	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター管理運営事業）	64頁
事業内容	お子さん（主に乳幼児）とその保護者がお互いに交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、親子遊びの催しなどの子育て支援を目的とした事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：人回／月間、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	57,437	56,160	54,124	40,000	46,360
確保の内容 b	57,437	56,160	54,124	40,000	46,360
拠点件数 c	10	11	11	11	11

2 実績

(単位：人日／月、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績）
延べ利用者数 A	34,970	30,956	40,246	46,015	41,379
					（見込み）
					46,360

3 評価

(単位：人日／月、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数 A-a	△ 22,467	△ 25,204	△ 13,878	6,015	△ 4,981

所管課による評価

子どもの年齢別のサロンや成長に応じた講座等を開催しており、利用者のニーズや子育て親子の交流拠点として大きな役割を担っている。毎年、支援拠点施設10か所による全体会を開催し、意見交換や情報交換を行い、相互連携や地域課題の解決に努めるなど、子育て支援の強化が図られている。

次年度以降の方向性

A : 推進・継続
B : 見直し
C : 休止・廃止

A

本事業は、現行の事業実施により対応できていると考える。
今後も支援拠点施設や関係機関等と連携を図り、ニーズや課題を適切に捉えた事業内容を協議・検討し子育て親子の交流の場、憩いの場となるよう努める。
また、支援が必要な親子等が、本事業の目的や実施内容等を認知できるよう、周知・広報に努める。

第2期 霧島市 子ども・子育て支援事業計画評価シート

令和6年度

事業名	妊婦健康診査	64頁
事業内容	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊婦期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業。	
提供体制、確保の考え方	健診回数：14 実施機関：鹿児島県内医療機関 実施体制：医療機関委託 実施時期：妊娠期間	

1 計画

(単位：人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	実受診者数	1,018	1,001	986	1,576	1,576
	述べ受診者数	14,252	14,014	13,804	11,912	11,912
	(妊娠届出数)	1,018	1,001	986	971	957
確保の内容 b	実受診者数	1,018	1,001	986	1,576	1,576
	述べ受診者数	14,252	14,014	13,804	11,912	11,912

2 実績

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(実績)
実受診者数 A	1,540	1,591	1,415	1,298	1,197
延べ受診者数 B	11,914	12,535	10,920	10,477	9,586
					(見込み)
					1,229
					10,067

3 評価

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実受診者数 A-a	522	590	429	△ 278	△ 379
延べ受診者数 B-a	△ 2,338	△ 1,479	△ 2,884	△ 1,435	△ 2,326

所管課による評価
母体や胎児の健康の確保を図ることを目的に、妊娠届出をした妊婦を対象に、妊婦健康診査受診票を交付し、県内の医療機関及び県外の委託医療機関において、妊婦健康診査14回（妊娠から出産までの間）の公費負担を行っている。この事業により妊婦が妊婦健康診査を受診しやすくなり、母体や胎児の健康が確保されることにつながっている。また、委託契約を締結していない県外の医療機関（里帰り出産など）については、償還払い制度で対応し、妊婦の経済的負担の軽減に寄与している。

次年度以降の方向性	A：推進・継続 B：見直し C：休止・廃止
A	令和6年度から開始した低所得妊婦の初回産科受診料費用助成事業について対象者への周知を図り、低所得妊婦が初回産科受診に係る費用支払いが困難なことによる受診の遅れを防ぎ早期からの妊娠中の健康管理を図っていく。また、母子健康手帳交付時に妊婦健診の受診勧奨を行い、妊婦健康診査の受診率の向上に努め、医療機関と連携しながら支援の必要な妊婦を把握し、支援に繋げ妊娠期からの切れ目ない支援を図っていく。

第2期 霧島市 子ども・子育て支援事業計画評価シート

令和6年度

事業名	乳児家庭全戸訪問事業	65頁
事業内容	生後4か月までのお子さんのいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境などの把握を行う事業。	
提供体制、確保の考え方	実施機関：霧島市 実施体制：霧島市母子保健推進員により対応	

1 計画

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	1,018	1,001	986	298	298
確保の内容 b	1,018	1,001	986	298	298

2 実績

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(実績)
訪問活動件数 A	256	292	280	284	184
					(見込み)
					298

3 評価

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問活動件数 A-a	△ 762	△ 709	△ 706	△ 14	△ 114

所管課による評価

乳幼児家庭全戸訪問事業は、生後4か月までのお子さんのいるすべての家庭を訪問している。保健センターの保健師や新生児訪問を委託している助産師が訪問できていない方を母子保健推進員に訪問依頼している。令和5年度から希望の未来給付金事業の面談も兼ねており、ほぼ100%生後4か月までの早期訪問の実施ができている。子育て支援に関する情報提供や養育環境などの把握ができていると考える。

次年度以降の方向性

A：推進・継続
B：見直し
C：休止・廃止

A

今後も引き続き、本事業を行い子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握を行いながら、乳幼児のいる家庭への切れ目のない支援を行う。

事業名	養育支援訪問事業	未実施	65頁
事業内容	養育支援が特に必要な家庭を訪問し、養育に関する指導・助言などを行うことにより、適切な養育の実施を確保する事業。		
提供体制、確保の考え方	実施機関：霧島市 実施体制：霧島市関係課職員により対応		

1 計画

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	300	300	300	300	300
確保の内容 b	300	300	300	300	300

2 実績

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 A	0	0	0	0	0
利用者数 B	0	0	0	0	0

3 評価

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 A-a	△ 300	△ 300	△ 300	△ 300	△ 300
利用者数 B-b	△ 300	△ 300	△ 300	△ 300	△ 300

所管課による評価

次年度以降の方向性

事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ）	66頁
事業内容	保護者の病気などの理由により家庭で養育を受けることが一時的に困難となったお子さんを対象に、児童養護施設などで必要な保護を行う事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：人日)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	305	305	305	305	305
確保の内容 b	305	305	305	305	305
施設数 c	4	4	4	9	9

2 実績

(単位：人日)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績）
延べ利用者数 A	225	272	150	120	116
施設数 B	4	7	11	11	8
					(見込み)
					300
					12

3 評価

(単位：人日)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数 A-a	△ 80	△ 33	△ 155	△ 185	△ 189
施設数 B-b	0	3	7	2	△ 1

所管課による評価

保護者の病気などの理由により家庭で養育を受けることが一時的に困難となったお子さんに関する利用希望については、児童養護施設などで必要な保護ができていることから、当該事業は機能していると考え。

次年度以降の方向性

A：推進・継続
B：見直し
C：休止・廃止

A

本事業については、現行の事業実施により、対応できていると考える。
また、事業について、市民に引き続き周知を行う。
今後も利用状況、利便性などを踏まえ、事業内容について検討する。

第2期 霧島市 子ども・子育て支援事業計画評価シート

令和6年度

事業名	ファミリー・サポート・センター事業	66頁
事業内容	子育て中の保護者で、お子さんの預かりなどの援助を受けることを希望する者（依頼会員）と援助を行うことを希望する者（提供会員）との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：人日)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	200	205	210	215	220
確保の内容 b	200	205	210	215	220
拠点箇所数 c	1	1	1	1	1

2 実績

(単位：人日)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績）
延べ利用者数 A	376	149	453	395	270
					（見込み）
					435

3 評価

(単位：人日)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数 A-a	176	△ 56	243	180	50

所管課による評価

子育てをする人が仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境の提供ができている。

次年度以降の方向性

A : 推進・継続
B : 見直し
C : 休止・廃止

A

本事業は、現行の事業実施により対応できていると考える。
 今後は、会員拡大のための事業周知や広報等を積極的に行い、より多くの子育て親子の支援が行えるよう組織強化に努める。

第2期 霧島市 子ども・子育て支援事業計画評価シート

令和6年度

事業名	一時預かり事業（幼稚園）	67頁
事業内容	冠婚葬祭、病気、育児中のリフレッシュなどの保護者の事情で、一時的に家庭で保育できない場合に、保育所、地域子育て支援拠点などにおいて、お子さんを預かる事業。	
提供体制、確保の考え方	提供区域内に実施している教育施設はないが、提供区域外の教育施設への利用実態があることから、提供区域外の教育施設において、提供体制を確保する。	

1 計画

(単位：人日、箇所)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
必要利用総数 a	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
	12,948	116,523	12,979	116,810	12,789	115,093	12,759	114,829	12,532	112,780
確保の内容 b	129,471		129,789		127,882		127,588		125,312	
施設数 c	32		33		33		33		33	

2 実績

(単位：人日、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績）
延べ利用者数 A	92,979	87,022	95,609	103,227	99,607
施設数 C	26	25	29	31	32
					(見込み)
					106,300
					32

3 評価

(単位：人日、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数 A-b	△ 36,492	△ 42,767	△ 32,273	△ 24,361	△ 25,705
拠点箇所数 C-c	△ 6	△ 8	△ 4	△ 2	△ 1

所管課による評価

一時預かりの需要が高まり、預かり保育を利用する人数及び補助事業を申請する施設も増加した。事業を実施する施設への補助を行い、保護者の心身のリフレッシュや就労等による幼稚園等の預かり保育の利用を促進することや、子育て環境の充実に寄与した。

次年度以降の方向性

A : 推進・継続
B : 見直し
C : 休止・廃止

A

日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合の対応や保護者の育児不安等の解消を図る上で非常に重要な事業であると考えられるため、利用者の動向を見極めながら、実施施設の維持・拡充等に努める。

事業名	一時預かり事業（保育）	68頁
事業内容	冠婚葬祭、病気、育児中のリフレッシュなどの保護者の事情で、一時的に家庭で保育できない場合に、保育所、地域子育て支援拠点などにおいて、お子さんを預かる事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：人日／年、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	22,070	20,654	19,840	5,150	4,760
確保の内容 b	22,070	20,654	19,840	5,150	4,760
施設数 c	21	21	21	17	17

2 実績

(単位：人日／年、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績）
延べ利用者数 A	7,516	6,139	5,954	5,824	4,822
施設数 B	12	14	14	15	18
					(見込み)
					6,424
					14

3 評価

(単位：人日／年、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数 A-a	△ 14,554	△ 14,515	△ 13,886	674	62
施設数 B-c	△ 9	△ 7	△ 7	△ 2	1

所管課による評価
一時預かり事業を実施する保育所等に対して補助を行うことで、通常保育を受けていない、もしくは対象とならない児童の保護者の子育てにおける心理的・身体的不安の解消を図り、安心して子育てができる環境づくりを推進した。 就労者の保育の場として活用されており、働き方を支える子育て家庭や育児疲れ等のリフレッシュなど多様なニーズに対応する事業として定着してきている。

次年度以降の方向性	A：推進・継続 B：見直し C：休止・廃止
A	保護者の傷病・入院・災害・事故・育児不安等の解消を図る上で、非常に重要な事業であると考えられるため、利用者の動向を見極めながら、実施施設の維持・拡充に努める。

事業名	時間外保育事業（延長保育事業）	69頁
事業内容	通常の保育時間の前後に、保育所などにおいて、保育を行う事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	2,465	2,396	2,349	2,775	2,775
確保の内容 b	2,465	2,396	2,349	2,775	2,775
施設数 c	42	43	43	47	47

2 実績

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(実績)
利用者数 A	3,319	3,389	2,812	2,570	2,877
施設数 B	40	42	39	45	45
					(見込み)
					3,300
					46

3 評価

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数 A-a	854	993	463	△ 205	102
施設数 B-c	△ 2	△ 1	△ 4	△ 2	△ 2

所管課による評価
開所時間を超えた保育を実施する保育所等に対して補助を行うことで、子育てと仕事が両立できる環境づくりを推進した。

次年度以降の方向性	A : 推進・継続 B : 見直し C : 休止・廃止
A	保育所等において通常の開所時間を超えて保育を行うことは、保護者の就労形態が多様化している中で、保護者が安心して働き、子育てと就労の両立を推進する上で非常に重要な事業であると考えられるため、実施施設等の維持・拡大等に努める。

事業名	病児・病後児保育事業	70頁
事業内容	病気や病気の回復期にあるお子さんを対象に、保育所などでの集団保育が困難で、かつ保護者の事情により家庭で保育できない場合に、病院、保育所などにおいて、一時的に保育を行う事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：人日)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	926	915	895	879	864
確保の内容 b	926	915	895	879	864
施設数 c	7	7	7	7	7

2 実績

(単位：人日／年、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(実績)
延べ利用者数 A	546	846	988	1,170	922
施設数 B	6	6	6	6	6
					(見込み)
					1,100
					6

3 評価

(単位：人日／年、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数 A-a	△ 380	△ 69	93	291	58
施設数 B-c	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1

所管課による評価
子育てと就労の両立支援の一環として、保育園等へ通園中の児童等が「病気の回復期」であるとの理由で自宅での養育を余儀なくされる期間、当該児童を預かる事業を行う団体に補助を行い、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進した。

次年度以降の方向性	A：推進・継続 B：見直し C：休止・廃止
A	前年比で利用者が増加しており、病児・病後児保育に対しての需要が高まっている。病気回復期の児童を預かり、保護者の就労を支援する上で重要な事業であると考えられるため、引き続き保育所等と連携し保育サービスの充実に努める。

第2期 霧島市 子ども・子育て支援事業計画評価シート

令和6年度

事業名	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	71頁
事業内容	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生の児童を対象に、授業の終了後などに遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る事業。	
提供体制、確保の考え方	市内54か所、84単位で実施しており、就労世帯の児童の健全育成に取り組んでいる。今後も施設の適切な運営について補助を行い、児童の生活の場の確保と、保護者が安心して働ける環境の推進に取り組む。	

1 計画

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	2,363	2,479	2,564	2,599	2,685
確保の内容 b	2,363	2,479	2,564	2,599	2,685
単位数 c	74	76	80	81	83

2 実績

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績）
延べ利用者数 A	2,220	2,236	2,171	2,454	2,582
単位数 B	73	79	79	82	84
					(見込み)
					2,584
					84

3 評価

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数 A-a	△ 143	△ 243	△ 393	△ 145	△ 103
単位数 B-c	△ 1	3	△ 1	1	1

所管課による評価

利用者の実績は、目標値に近い推移で増員しており、今後も利用希望が見込まれる。また、放課後児童クラブ数も増え、適正な設置基準の周知や、人員配置や開所日数について適宜指導や助言に努めながら運営補助を行い、放課後等における児童の健全育成を図ることができた。

次年度以降の方向性

A : 推進・継続
B : 見直し
C : 休止・廃止

A

保育ニーズのある児童が、放課後等を安心・安全に過ごし、保護者が働きやすい環境を提供できるよう、引き続き質の向上を図るとともに、家庭や学校と連携を図りながら適切な支援に努めていく。

事業名	実費徴収に係る補足給付を行う事業	74頁
事業内容	私立幼稚園（新制度未移行）において、実費徴収が行われている費用（食事の提供に要する費用）について、低所得者等を対象に費用の一部を助成する事業。	
提供体制、確保の考え方		

1 計画

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
必要利用総数 a	18	18	18	休止	休止
確保の内容 b	18	18	18		
拠点箇所数 c	1	1	1		

2 実績

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施者数 A	14	0	0	0	0
拠点件数 B	1	0	0	0	0

※事業実施なし ※事業実施なし ※事業実施なし

3 評価

(単位：人、箇所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施者数 A-a	△ 4	△ 18	△ 18		
拠点件数 B-c	0	△ 1	△ 1		

所管課による評価

対象者に対し給食費等を助成することで低所得者世帯等の保育の負担軽減を図り、安心して子育てができる環境づくりを推進した。

次年度以降の方向性

A：推進・継続
B：見直し
C：休止・廃止

C

本市内の全ての私立幼稚園が新制度に移行済みのため廃止する。